

# 情報サービス演習II

## 第7回

### 図書情報の探し方(1)

鶴見大学 非常勤講師

江草由佳

(国立教育政策研究所 総括研究官)

yuka@nier.go.jp

# 本日のお品書き

- お知らせ
- 図書情報の探し方(1)
- 第8回演習課題:図書情報の探し方(1)
  - 図書情報の検索結果画面イメージ

# 図書情報の探し方

- 蔵書目録:OPAC
- 国立国会図書館
  - NDL Search
  - NDL-OPAC
- 国立情報学研究所
  - CiNii Books
  - Webcat Plus
    - (Book Page 本の年鑑)
- カーリル
- Books.or.jp
  - (日本書籍総目録)
- BOOKPLUS
  - (Book Page 本の年鑑)
- 新書マップ\*
- BOOK TOWNじんぼう\*
- amazon.com\*
- 青空文庫\*
- 近代デジタルライブラリー\*

# 図書情報をさがしたい。例えば...

- 鶴見大学図書館に所蔵されているかどうか
- あるタイトルの本がある(存在する)かどうか
- あるタイトルの本が現在購入できるか、値段は？
- 書誌事項はわかっているが、所蔵館を調べたい
- ある文章に関連のある本が知りたい
- ある本が神保町の古書店にあるかどうか知りたい
- ある本のレビューが知りたい
- 本の全文データを直接読みたい
- ある本の生まれた背景や与えた影響、関連する人物や事柄などを調べたい

# 図書情報の特徴とそのアプローチ

- 図書は図書館にとって身近な情報メディア
- 電子ブックなどもでてきて流通経路も多様に
- 図書館が提供する検索ツールは有効
  - ただし、長所・短所、探索範囲、などさまざま
- 図書館以外にもさまざまな図書情報を探すツールがある
  - 例：オンライン書店、各種出版社などなど
- 探したい情報によって使い分けよう

# 蔵書目録: OPAC

- OPAC: Online Public Access Catalog
- インターネット上で利用できる図書館の目録データベース
  - 例: 鶴見大学図書館のOPAC  
<http://library.tsurumi-u.ac.jp/>
  - 現在はWeb上でサービスされることが多い
- 図書館に所蔵される全ての本があるとは限らない
  - 例: 昔に出版されたもの

# 国立国会図書館

- 国立国会図書館=NDL: National Diet Library
- 国立国会図書館は日本の出版物をほぼ全て所蔵
  - →日本国内で刊行された出版物のデータベース
  - →「日本全国書誌」の検索ができる
  - 各図書館のOPACより更新が遅いこともある
- 国立国会図書館サーチ (NDL Search)
- NDL-OPAC

# 国立国会図書館サーチ

## NDL Search

- <http://iss.ndl.go.jp/>
- 国立国会図書館の蔵書目録＋α
  - 国立国会図書館の蔵書に限らずさまざまなデータベースを一括して検索できる統合検索
- 国立国会図書館が提供している情報サービスを一括して検索できる
  - NDL-OPAC、雑誌記事索引、国立国会図書館デジタル化資料、リサーチナビ、レファレンス共同データベース
- CiNii、JAIRO、J-STAGE、公立図書館や大学図書館、専門図書館、公文書館などの総合目録やデジタルアーカイブなど多くのデータベースも検索できる。



# NDL-OPAC

- <https://ndlopac.ndl.go.jp/>
  - 国立国会図書館の蔵書目録
  - 図書や雑誌・新聞のほか、雑誌記事やその他の資料を一括して検索できる
  - NDL Searchにも含まれている
  - 検索した結果から求める文献の複写(コピー)を直接申し込めるのが特徴
    - (ただし事前に申し込みは必要)

# 国立情報学研究所(NII)

- 大学図書館の9割が参加する書誌ユーティリティ(NACISIS-CAT/ILL)を運用
  - 大学図書館以外にも、研究所の専門図書館などおもに学術的な図書館が参加
  - 注意:全ての大学図書館の目録データがあるわけではない → 例:早稲田大学
- NACISIS-CAT/ILLを元にした書誌・所蔵情報の検索サイトを提供
  - CiNii Books
  - Webcat Plus

# CiNii Books

- <http://ci.nii.ac.jp/books/>
- どのの大学に本が所蔵されているか？を知りたいときに使える
  - 所蔵図書館の地域を特定した絞り込みが可能
- 特定の本を探したい、絞り込みたい、所蔵館を探したいときに向いている

# Webcat Plus(1)

- <http://webcatplus.nii.ac.jp/>
- 以下のデータベース他さまざまなデータベースを含む
  - NACSIS-CAT/ILL(目録所在データベース)
  - 「BOOK」データベース(Book Page 本の年鑑)
    - トーハン、日本出版販売、日外アソシエーツ、紀伊国屋書店が著作権をもつ1986年以降に発行された図書情報
    - 目次や帯、カバー等などに書かれている内容細目もあり
  - 日本の古書店

# Webcat Plus(2)

- 連想検索

- 明確に探したい本がないときにテーマから探せる
- 特定の本を探したい、絞込みたいときには向いてない
- 連想でキーワードを広げられるのがうれしい
- 関連キーワードなどがわかるのがうれしい
- ある文章に関連のある本が探せる
- 「新書マップ」、「BOOK TOWNじんぼう」でも使用

# カーリル

- <http://calil.jp/>
- 全国6000以上の図書館/図書室から書籍とその貸し出し状況を簡単に横断検索
- 近くの図書館を利用者IDごとに登録しまとめて検索可能
- 読みたい本リスト
  - 読みたい本を登録してそのリストを印刷可能

# Books.or.jp

- <http://www.books.or.jp/>
  - 国内で発行された、**市販で入手可能な書籍**が”今”手に入る本の最新情報として提供される
  - 直接オンライン書店にリンクして、検索した本が手に入れられる
  - 簡易検索
  - 詳細検索(「もっと詳しく検索する」)
- 『日本書籍総目録』(年刊、2004年で終刊)が元になっている
  - 日本書籍総目録: 1927年-2001年までは印刷版あり、2002年以降はCD-ROM版 → 古い本の場合はこちらを利用する

# BOOKPLUS

- 昭和元年～現在までの本の情報の検索
- 1986年以降発行の本の要旨・目次・あらすじあり
- 『Book Page 本の年鑑』のデータを元につくられている
- 鶴見大学学内のみから検索可能
  - 鶴見大学図書館Webページ(<http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/>)の「BOOKPLUS」リンクから使えます
- **注意**: 使用後はかならず「**LOGOUT**」ボタンでログアウトすること
  - 他の人が使えなくなります。



# 第8回演習課題

- 演習課題を実行し、講義Webサイトから、回答用紙をダウンロードし、PowerPointで作成して、9分割印刷して提出しなさい。
  - (1)から(6)まであります
  - 課題名に: 第\_\_回演習課題と入れなさい
  - ✕切: 来週演習開始時
- 「情報サービス演習II」、「第\_\_回演習課題・図書情報の探し方(1)」、「時限」「学籍番号」、「名前」、「提出年月日」を忘れずに記入すること

# 参考：9ページをまとめて一枚として印刷する方法※

**最後**

1 プリンターのプロパティ

2 9 in 1

3 OK

プリンターの  
プロパティ

※鶴見大学 402教室,403教室のパソコンでのやり方です。

# 演習課題(1):OPAC演習 書名に「オリエンテーリング」

## 1. 早稲田大学のOPACを検索

- ① <http://wine.wul.waseda.ac.jp/>
- ② 「タイトル検索」のリンクを辿る
- ③ 「オリエンテーリング」を入力して検索
- ④ 「オリエンテーリング：自然に挑む地図と磁尺のスポーツ / 紺野晃 著」という本が所蔵されている
- ⑤ 詳細表示を見る  
→画面イメージをpptへ

## 演習課題(2): NDL Search演習

- p.55【例題1】スポーツによるまちおこしについて書かれた図書を検索したい
- ①～④を実行しなさい
- p.58 5-4図 →画面イメージをpptへ

# 演習課題(3): CiNii Books演習 書名に「オリエンテーリング 自然」

## 1. CiNii Booksを検索

- ① クエリボックスに「オリエンテーリング 自然」を入力
- ② 「検索」ボタンをクリック
- ③ 「オリエンテーリング：自然に・・・」リンクをクリック
- ④ 詳細表示に早稲田大学がないことを確認  
「すべての地域」を「関東地方」を選ぶ
- ⑤ 詳細表示(大学リスト一部みえるように)  
－ (p.82 6-5図に似た画面) →画面イメージをpptへ

## 2. 早稲田大学に所蔵されている本がCiNii Booksにもあるが、早稲田大学の記述がないことを確認

# 演習課題(4): WebcatPlus

1. <http://www.asahi.com/>で適当な記事をコピー
2. 連想検索の入力フォームにペースト
3. 「連想検索」ボタンをクリック
4. 検索結果を眺めてみる
  - 連想ワード
  - ヒットした本の詳細情報を見る
  - (目次や帯の情報があるものどれか一つ)  
(p.62 5-9図) →画面イメージをpptへ
5. 連想ワードにチェック入れたりしてみよう
6. 他の記事でもやってみよう(時間があれば)

# 演習課題(5):カーリル

- 「(適当なキーワード)」:「さがす」をクリックする
- ご利用の図書館を選んでください:「鶴見」
  - 「検索」をクリックする
  - 横浜市鶴見図書館の「検索対象に追加」をクリックする
- 「(適当なキーワード)」:「さがす」をクリックする
- 検索結果が表示される
  - (どの本が借りられるかなどがわかる)
  - →画面イメージをpptへ。 →例:



# 演習課題(6): Books.or.jp

- Books.or.jpを検索
  1. タイトルのクエリボックスに「情報サービス演習」を入力
  2. 「さがす」をクリック
  3. 検索結果が表示される
  4. 書名のリンク「情報サービス演習」をクリック
  5. 詳細表示画面が表示される
  6. (金額、書店へのリンクなどがあることを確認)
  7. →画面イメージをpptへ